

※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2025年4月7日

CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数：3/28-4/4)



	週間	月間	YTD
VN指数	-8.11%	-7.36%	-4.43%
VN30指数	-6.80%	-6.11%	-4.78%
VN中型株指数	-10.09%	-9.73%	-8.27%
VN小型株指数	-10.03%	-9.29%	-9.26%

先週のVN指数は1317.46ポイントから1210.67ポイントへと8.11%の急落となりました。市場は週半ばまで横ばい圏で推移していましたが、トランプ米大統領が発表した相互関税が市場想定より厳しい内容となったことで、アジア市場は全面安の展開となりました。ベトナムに対しては46%の相互関税が適用されると公表され、対米輸出依存度の高いベトナム経済の先行き懸念が一気に高まり、株式市場の下落につながりました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が-6.80%、中型株指数が-10.09%、小型株指数が-10.03%と大幅な下げとなりました。特に中型株、小型株の下げが厳しい一週間となりました。

	週間	月間	YTD
為替レート (ドン対円レート)	-4.22%	-3.20%	-8.86%

通貨ベトナムドンにつきましては、トランプ米大統領の相互関税の悪影響が懸念され、米ドルに対して下落しました。一方、ドル・円相場は、相互関税の公表をきっかけに世界的に景気不安が高まり、投資家心理が悪化する中、低リスク通貨とされる円が買われ、ドル安・円高が進みました。ベトナムドンは円に対して、-4.22%と下落に転じました。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	-6.3%	素材	-11.7%
不動産	-5.9%	公益事業	-10.3%
生活必需品	-9.2%	エネルギー	-13.0%
一般消費財	-12.3%	情報技術	-9.2%
資本財	-9.9%	ヘルスケア	-11.0%

セクター別に見ますと、全セクターが下落となりました。特に右真ん中のエネルギーが-13.0%、左下から2番目の一般消費財が-12.3%と大幅な続落となりました。



銘柄名[ティッカー]	騰落率
ビングループ（不動産）[VIC]	+0.5%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
ベトナムゴム工業グループ（素材）[GVR]	▲20.5%
バオ・ベト・ホールディングス（金融）[BVH]	▲15.6%
ベカメックス（不動産）[BCM]	▲15.6%

大型株のVN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、複合企業のビングループのみが+0.5%と小幅ながら上昇を維持しました。一方、下落銘柄はベトナムゴム工業グループが-20.5%、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが-15.6%とそれぞれ反落しました。また、工業団地開発大手のベカメックスが-15.6%と続落しております。

VN指数直近1年の推移



VN指数は急落となりました。1－3月期の経済成長率は速報ベースで前年同期比6.93%と堅調ですが、トランプ米政権の相互関税の発表により、景気の先行き不透明感が台頭しております。ベトナムの最高指導者であるトー・ラム共産党書記長は、トランプ米大統領と電話協議を行い、米国からの輸入関税をゼロにするための協議の準備ができていると明言し、フォック副首相を既に米国に派遣し、具体的な交渉に当たるとみられます。こうした環境下、株式市場は変動性の高い展開を続けると想定されますが、バリュエーション面では足元の予想PERが9倍程度と割安感を強め、先週末には一部大型株に買い戻しの動きも見られております。

以上